「和歌山県土砂災害啓発センター」の起工式が行われました

H27.5.7

- 5月2日に和歌山県、那智勝浦町主催で「和歌山県土砂災害啓発センター」の起工式が、那智勝浦町市野々地先の建設予定地で、400名の参加で行われました。
- 和歌山県土砂災害啓発センターには、近畿地方整備局の大規模土砂災害対策技術センターも入所予定で、大規模土砂災害対策研究機構の活動拠点ともなる予定です。
- 建物は、紀州材を利用した2階建てで、平成28年4月にオープン予定です。

起工式は、ゴールデンウィークにもかかわらず、主催の仁坂和歌山県知事、寺本那智勝浦町長をはじめ、来賓として二階衆議院議員、国土交通省大野砂防部長、森近畿地方整備局長、大沢前和歌山県会議員、三重大学山田教授、和歌山大学此松教授のほか、県会議員、関係市町村長、市町村長議会議員の方、遺族会をはじめ、住民の方々など400名が参加し、開催されました。

仁坂知事、寺本町長の式辞の後、二階衆議院議員、国土交通省大野砂防部長から来賓祝辞がありました。

その後、主催者、来賓者などによる工事安全祈願の鍬入れ式が行われました。

和歌山県土砂災害啓発センター（完成イメージ図）

提供：和歌山県

鍬入れ式の様子

二階衆議院議員祝辞

H23年のような事が再び起こらないためにどうしたら良いか考えた。

町に役に立つものと思い、専門家から意見を伺い、期待できる形になった。

那智の災害を忘れないように、発信していってほしい。

仁坂和歌山県知事挨拶

啓発センターには、思い入れがある。

H23年9月に那智谷は大変な悲劇に見舞われたが、実際に起こった災害を科学的に究明して対策をきちんとすることが基本。

今後に備える基礎ができたと思う。

寺本那智勝浦町長挨拶

多大な支援をいただき復旧進んでいる。

昨年、整備局の技術センターと、研究機構が設立され、本日、啓発センターの起工となり、喜ばしい。

土砂災害の警戒、啓発の拠点となることを待ち望んでいる。

<u>大規模土砂災害対策研究機構</u>

土砂災害防止にかかわる人材育成や地域防災力の強化、防災知識普及のための広報、技術の発信を積極的に推進するため、国、県、町、大学、研究機関が官学一体で取り組むために平成26年度に設立。

（参加機関）

近畿地方整備局、国土技術政策総合研究所、和歌山県、那智勝浦町、（国研）土木研究所、北海道大学、三重大学、京都大学、和歌山大学

【問い合わせ先】
国土交通省　近畿地方整備局
河川部　河川計画課
〒540-8586　大阪市中央区大手前1丁目5-44
TEL 06-6945-6355

研究機構HP：
http://www.kkr.mlit.go.jp/kiisanchi/kikou/index.htm